

衆院選の結果について

過去3年間の民主党政権の混乱による失政に対し、有権者が不信を突きつけた結果である。第3極勢力の政党が乱立したことにより、各党の理念や政策の違いが分かりづらく、特定の政策の違いだけでは政党として選択しにくく、結果的に政権実績のあるより安定した自民党に票が流れたということで、自民党が圧勝したというより民主党が惨敗した印象である。

自民党には、勝って兜の緒を締め、将来にわたる経済成長と豊かな国民生活を実現する、本格的な政党に新しく生まれ変わることを期待している。

まずは、一刻も早く新政権の体制を整え、デフレ脱却による景気回復を最優先し、雇用の安定に取り組んでいただきたい。併せて、科学や文化、経済の成長、豊かな国民生活の実現を旨とする将来の国家像を明示し、財政再建や社会保障、安全保障、エネルギー、TPPなどの個別の政策を着実に推進すべきである。

政策の決定・推進にあたっては、意思決定のプロセスを明確化し、スピード感のある政策実行力を通じて、国民の信頼に応える「決める政治」で結果を出してもらいたい。

以 上

平成24年12月17日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄